



物価の高騰と給与水準という矛盾

令和7年7月7日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これらは生活の必要性と物価基準が、格差社会の形成とともに、今日社会における新たな現実を与えるものである。

これらは総中流という現実、今日技術革新と先端産業の突出において、存在しないものとなっているのである。

これらは右に倣えという日本的風土がこれら格差社会の形成において、社会の本質の転換を与えているのである。

これらは世界における新たなエリートの誕生が国内において存在し、それらはグローバルスタンダードという現実における新たなエリートたちの誕生を現実が有するのである。

これらは世界が知性における新たな未来へ進むことがその世界の選択として存在することなのである。これら現実が自由主義と競争という現実において、今日の変化を与えているのである。

これらが完全な既存社会の崩壊を日本において与えているのであり、変化に対して自己を有する存在は新たな知性における現実を有する存在たちなのである。

これらは企業において明らかな振り分けを与えるものであり、勝ち組と負け組への新たな基準なのである。

世界が新たなエリートたちとともに未来を模索するとき、それらへの参加を与えるのは知性なのである。

これらが今日のグローバリゼーションにおける新たな現実であり、企業はそれをクリアし、未来を有する必要性があるのである。

これら新たな経営判断は企業の本質の転換を要求するのである。